



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月4日

上場会社名 芝浦メカトロニクス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6590 URL <https://www.shibaura.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今村 圭吾
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員経営管理本部長 (氏名) 池田 賢一 TEL 045-897-2425
 四半期報告書提出予定日 2022年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有（当社ウェブサイトには決算説明資料を掲載予定です。）
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	13,821	36.8	2,120	222.6	1,912	214.4	1,675	—
2022年3月期第1四半期	10,100	2.4	657	110.1	608	96.3	△192	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 1,775百万円 (—%) 2022年3月期第1四半期 △77百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	379.21	—
2022年3月期第1四半期	△43.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	68,696	25,372	36.9	5,743.27
2022年3月期	68,854	24,614	35.7	5,571.64

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 25,372百万円 2022年3月期 24,614百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	230.00	230.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	0.00	—	350.00	350.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,000	13.7	6,700	32.6	6,500	33.3	5,100	71.0	1,154.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	5,192,619株	2022年3月期	5,192,619株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	774,862株	2022年3月期	774,834株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	4,417,778株	2022年3月期1Q	4,415,638株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①業績全般について

当第1四半期連結累計期間における当社グループの事業環境は、半導体業界においては、引き続きIoT、5G、AIなどの強い需要を受け、ロジック/ファウンドリ向け、メモリ向け、パワーデバイス向け、及びウェーハ向けなどの設備投資がいずれも順調に推移しました。FPD(Flat Panel Display)業界においては、TV向けなどの大規模な設備投資は調整局面にありましたが、モニタや、車載向けなどの設備投資が継続しました。また、いずれの業界においても部品や部材の供給が不安定な状況が続きました。

このような環境の中、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は、前年同期に比べ半導体分野、FPD分野とも増加し、13,821百万円(前年同期比36.8%増)となりました。利益面では、半導体分野の売上増加と利益率の改善により営業利益が2,120百万円(前年同期比222.6%増)、経常利益が1,912百万円(前年同期比214.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益が1,675百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失192百万円)となりました。

なお、受注高は、半導体分野は顧客の旺盛な投資を受け好調に推移しました。一方でFPD分野は前年同期と同等で推移しました。この結果、当第1四半期連結累計期間における受注高は28,941百万円(前年同期比94.7%増)となりました。

②セグメントの業績について

主な事業セグメントの業績は次のとおりです。

(ファインメカトロニクス部門)

売上高は、半導体前工程では、ロジック/ファウンドリ向け装置、パワーデバイス向け装置、及びウェーハ洗浄向け装置が堅調に推移し、前年同期に比べ増加しました。一方、FPD前工程では、前年度の受注が低調であったこともあり、前年同期と同等となりました。この結果、部門全体では前年同期に比べ増収となり、8,545百万円(前年同期比44.0%増)となりました。

セグメント利益は、半導体前工程での売上増加、FPD前工程でも利益率が改善したことなどから、部門全体では1,349百万円(前年同期はセグメント利益58百万円)となりました。

なお、受注高は、半導体前工程は全体として順調であり、特にウェーハ洗浄向け装置が好調に推移しました。FPD前工程は、大型パネル向け装置、中小型パネル向け装置とも低水準で推移しましたが、ヘルスケア分野のインクジェット錠剤印刷装置の受注が寄与しました。この結果、部門全体では前年同期に比べ受注高が増加し、21,827百万円(前年同期比156.0%増)となりました。

(メカトロニクスシステム部門)

売上高は、半導体後工程では、先端パッケージ向け装置、FOPLP向け装置など、いずれも堅調に推移し、前年同期と同等となりました。FPD後工程では、大型パネル向け装置を中心に堅調に推移し、前年同期に比べ増加しました。この結果、部門全体では前年同期に比べ増収となり、4,265百万円(前年同期比28.4%増)となりました。

セグメント利益は、売上増加により760百万円(前年同期比20.1%増)となりました。

なお、受注高は、半導体後工程は特に先端パッケージ向け装置が好調に推移しました。FPD後工程はモニター用パネル向け装置、車載用パネル向け装置を中心に堅調に推移しました。この結果、部門全体では前年同期に比べ受注高が増加し、6,069百万円(前年同期比12.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ158百万円減少し68,696百万円となりました。これは主に現金及び預金が413百万円、仕掛品が482百万円増加した一方で未収入金が1,033百万円減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ916百万円減少し43,323百万円となりました。これは主に未払法人税等が1,052百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ758百万円増加し25,372百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月12日に公表いたしました通期連結業績予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,316	26,729
受取手形、売掛金及び契約資産	24,935	24,752
電子記録債権	717	815
商品及び製品	1,427	1,575
仕掛品	1,981	2,464
原材料及び貯蔵品	163	207
未収入金	1,845	811
その他	335	432
貸倒引当金	△1,521	△1,522
流動資産合計	56,201	56,266
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,180	28,228
減価償却累計額	△20,129	△20,229
建物及び構築物(純額)	8,051	7,998
機械装置及び運搬具	6,447	6,550
減価償却累計額	△4,978	△5,117
機械装置及び運搬具(純額)	1,469	1,433
工具、器具及び備品	1,192	1,230
減価償却累計額	△1,000	△1,027
工具、器具及び備品(純額)	191	203
土地	119	119
リース資産	97	93
減価償却累計額	△51	△51
リース資産(純額)	46	41
建設仮勘定	957	978
有形固定資産合計	10,835	10,775
無形固定資産		
特許権	369	376
その他	231	238
無形固定資産合計	600	614
投資その他の資産		
投資有価証券	52	52
長期前払費用	14	13
繰延税金資産	934	764
その他	219	212
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	1,216	1,038
固定資産合計	12,652	12,429
資産合計	68,854	68,696

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,240	11,030
電子記録債務	3,020	3,825
短期借入金	4,350	4,350
1年内返済予定の長期借入金	800	800
リース債務	17	16
未払法人税等	1,249	197
未払費用	3,087	3,113
前受金	3,852	3,936
役員賞与引当金	62	30
受注損失引当金	8	8
製品保証引当金	120	132
その他	1,297	794
流動負債合計	29,106	28,237
固定負債		
長期借入金	5,000	5,000
リース債務	34	30
退職給付に係る負債	6,620	6,581
役員退職慰労引当金	24	25
修繕引当金	309	303
資産除去債務	67	67
長期預り保証金	3,078	3,078
固定負債合計	15,133	15,086
負債合計	44,240	43,323
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,761	6,761
資本剰余金	9,037	9,037
利益剰余金	12,695	13,353
自己株式	△4,007	△4,007
株主資本合計	24,487	25,145
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	423	496
退職給付に係る調整累計額	△297	△269
その他の包括利益累計額合計	126	227
純資産合計	24,614	25,372
負債純資産合計	68,854	68,696

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	10,100	13,821
売上原価	6,626	8,660
売上総利益	3,474	5,160
販売費及び一般管理費	2,816	3,039
営業利益	657	2,120
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	1	—
為替差益	—	261
その他	12	21
営業外収益合計	14	283
営業外費用		
支払利息	23	21
為替差損	7	—
デリバティブ評価損	—	447
その他	33	22
営業外費用合計	63	491
経常利益	608	1,912
特別損失		
事業構造改善費用	613	—
特別損失合計	613	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△4	1,912
法人税、住民税及び事業税	36	67
法人税等調整額	151	169
法人税等合計	188	237
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△192	1,675
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△192	1,675

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△192	1,675
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	—
為替換算調整勘定	77	72
退職給付に係る調整額	38	28
その他の包括利益合計	115	100
四半期包括利益	△77	1,775
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△77	1,775

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	ファインメカ トロニクス	メカトロニク スシステム	流通機器 システム	不動産賃貸	
売上高					
外部顧客への売上高	5,934	3,321	373	471	10,100
セグメント間の内部売上高又は振替高	9	38	—	22	71
計	5,944	3,360	373	494	10,172
セグメント利益又はセグメント損失(△)	58	632	△74	140	756

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	756
全社費用(注)	△98
その他	△50
四半期連結損益計算書の経常利益	608

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の研究開発費のうち全社共通に係る要素開発費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ファインメカトロニクス」セグメントにおいて、横浜事業所内の老朽化した建物の取り壊しに伴う減損損失について特別損失(事業構造改善費用)に計上いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、前第1四半期連結累計期間においては214百万円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	ファインメカ トロニクス	メカトロニク スシステム	流通機器 システム	不動産賃貸	
売上高					
外部顧客への売上高	8,545	4,265	544	465	13,821
セグメント間の内部売上高又は振替高	11	39	—	22	74
計	8,557	4,305	544	488	13,895
セグメント利益	1,349	760	6	130	2,246

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,246
全社費用(注)	△119
その他	△213
四半期連結損益計算書の経常利益	1,912

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の研究開発費のうち全社共通に係る要素開発費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。